

## カムチャツカナニワズの発見から発表まで そして・・・

美唄市 新田 紀敏<sup>1</sup>

北見市 内田 暁友

### はじめに

2020年12月、ロシア・カムチャツカ地方の固有種とされていたカムチャツカナニワズ *Daphne kamtschatica* が道東の斜里町に分布することを発見し、学術誌に発表しました (Nitta & Uchida 2020, 図1)。この小文はナニワズ類の分類や分布を簡単に紹介し、今回のカムチャツカナニワズ発見から発表までのエピソードを紹介するものです。



図1 花期のカムチャツカナニワズ (斜里町)  
撮影：新田 (写真はすべて)

### ジンチョウゲ科とは

ジンチョウゲ科 *Thymelaeaceae* は世界に約 50 属 800 種あるとされ、その中のジンチョウゲ属 *Daphne* は世界に約 95 種とのことです (米倉 2017)。この属は下位分類があり、ナニワズの仲間はジンチョウゲ節 Sect. *Daphnanthes*、さらに下のオニシバリ亜節 Subsect. *Pseudomezereum* に分けられます。この仲間は寿命が数週間から長くて 10 か月程度で使い捨てられる薄っぺらな葉をつけ、冬に葉を落とすわけではありませんが通常は落葉樹とされています。このほかにクチクラの発達した艶のある葉をつけ常緑性のジンチョウゲ亜節 Subsect. *Daphnanthoides* があり、道内にはカラスシキミが分布します。

30cm から 1m を少し超えるくらい。越冬する葉をつける。早春の雪解け頃から花を咲かせる。どれも花は良い香りがする。冬ではなく夏に休眠芽を作って活動を停止する。樹皮の韌皮という部分が強いです。花は花弁がありませんが、萼の先が4裂して開き花弁のように見えます。雄蕊は萼の内側に4本ずつ2段になっています。

ナニワズ類は日本とその周辺に次の

### ナニワズ類の特徴

ナニワズの仲間は次のような共通した特徴があります。高さは

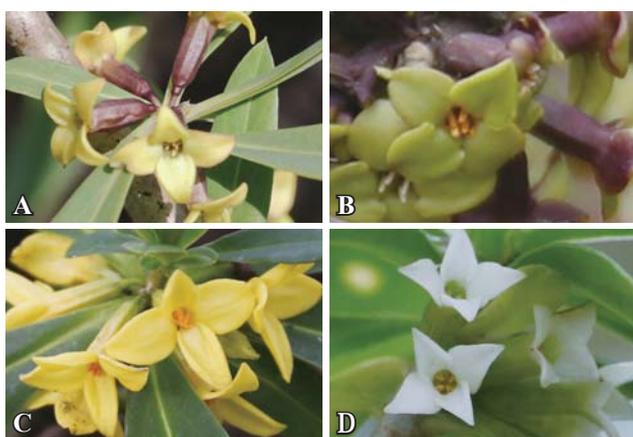


図2 ナニワズ類4種の花比較  
A：オニシバリ、B：チョウセンナニワズ、C：ナニワズ、  
D：カムチャツカナニワズ